

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	えるびす		
○保護者評価実施期間	2025年10月17日～		～ 2025年11月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年10月17日～		～ 2025年11月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026(令和8)1月12日(月)		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者様の個性に沿うように配慮した、活動内容の工夫をしている。	・高学年の方が増え下校時間が短くはなっているが、おやつ、水分、活動等を工夫して行うように計画をしている。 ・家までの送迎は行っていないが、お迎え時に様子や気になる点を丁寧に伝えるようにしている。	・室内の一角カーテンで仕切るコーナーを設けプライバシーに安静な環境を提供できるようにしている。 ・集団活動の時間においても、ホワイトボードやカードの使用し、個性を考えながら実施していく。
2	防災、防犯に対する意識が高い。	防災委員会が中心となり、年に2回の法人全体の防災訓練に加えて、部署毎で行うコンパクト防災訓練を月1回行っている。また安全管理委員会が中心となり防犯対策としてインターフォンの設置を行った。	防災訓練に関しては、地域の自治体の訓練内容を参考にしてい行い対応力をつけていきたい。
3	・ミーティングの際には職員の意見をひろい、情報共有ができています。	支援後には振り返りを行っている。勤務時間の都合上、参加できない職員に関しては、振り返り時に出た意見、様子を利用者様毎の申し送りノートに記録し、見ることができるようにしている。	振り返りやミーティングに参加できていない職員への通達方法の工夫。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ハード面(広さ)	・5名想定の広さで設計されたが、現在7名受け入れることがある。7名を受け入れる広さの基準は満たしているが、支援に必要な物品等も設置されているため、利用人数が多い日には圧迫感を感じやすい。ま	・それあ〜どの支援室が広いため、ボランティアさんの慰問笑いヨガ、演奏会等は行い一緒に参加させてもらっているのでも今後も連携をとって継続できるようにする。 ・広いとは言えないが、一人一人の職員が全体の把握はしやすく、様子を見ながら安全面に配慮している。
2	・保護者、兄弟支援の充実化、ペアレントトレーニング	・ペアレントトレーニングができる職員がいない。 ・意見交換会の参加率が低い。	・ジョブメドレーアカデミーの活用等をして、知識を得ていく。 ・意見交換会の参加率向上のために、内容を見直しの検討。 ・研修や勉強会の実施の検討。
3	・人材の確保	・重症心身障がい児者の支援は個性が高く難しく感じるものが多く、楽しいと感じたりやりがいにつなげるのが難しいことが要因と考えられる。	・ボトムアップ企画書があり、物品等の必要性だけでなく、意見等も挙げやすく、取り上げてもらいやすくなっているので積極的な活用を促していきたい。 ・職員のお休みに合わせて、他部署からの協力を得て安定した支援を行うことができるよう努めていく。